

# 生きもの調査指導者養成全国研修会

～ 開催案内 ～



## 1. 目的

現在、農村部では過疎化や農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大など、多くの課題が生じています。このような課題解決に向けて、農林水産省では足腰の強い農業へ向けた生産現場の強化や農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための取組みが進められています。

特に多面的機能は、農村部におけるコミュニティー活動や共同管理の実施により農地が守られ、維持・発揮されています。このような集落コミュニティーを強くしていく一つの方策として、「生き物調査」を通じて住民の皆さんに自らの地域への興味と愛着、理解を高めていただくことにより、共同管理への積極的な参加を導くことが可能となります。

しかし、農村部では、「生きもの調査」を自ら行うことができる人材が不足していることが多く、「生きもの調査」の実施における指導やサポートを行うことができる人材の育成を目的として、「生きもの調査指導者養成全国研修会」を開催するものです。

## 2. 主催者等

主催：（一社）地域環境資源センター

後援：東北農政局、宮城県、宮城県土地改良事業団体連合会、ナマズのがっこう

## 3. 開催日

平成29年8月4日（金）13：00 開始 ～8月5日（土）16：30 終了（1泊2日）

## 4. 研修会場

1日目 座学：くりはら交流プラザ（エポカ21） 2階 虹の間（宮城県栗原市）

2日目 実地：宮城県石巻市北上地区、登米市伊豆沼第2工区地区

## 5. 宿泊先

宿泊場所は、「峠の湯 追分温泉」を利用する予定です。

予約は、主催者側で一括して行います。なお、宿泊施設の事情により、相部屋での利用となりますので、予めご了承ください。

## 6. 対象者および定員

「生きもの調査の指導者」を目指す方々を広く対象とします。定員は30名です。

## 7. カリキュラム

別紙のとおり。

研修会終了後、東日本大震災からの復興状況の視察（石巻市、南三陸町）を行います。また、視察後、伊豆沼第2工区地区（登米市）へ移動し、ほ場整備事業により整備した環境配慮施設の視察と生きものの生息状況の確認を行います。

以上のほか、希望者は、ラムサール条約の登録湿地である「伊豆沼・内沼」の自然や人文・社会等を紹介する施設「伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター（無料）」を訪問し、遊覧船（有料）にて伊豆沼のハス観賞等を行うことができます。

## 8. 参加費

- (1) 受講費 15,000円（生きもの調査キット、保険料を含みます）
- (2) 宿泊費 7,000円（朝食込）
- (3) 交流会費 3,000円（1日目の夜）

※ 1: 受講費の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。なお、振込手数料は別途ご負担願います。

※ 2: 宿泊費、交流会費は当日受付にて集金させていただきます。

## 9. 申込み

巻末の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて、以下の宛先にお送りください。申込用紙は、当センターホームページ（<http://www.jarus.or.jp> トップページ「新着情報」）よりダウンロードすることもできます。

締め切りは、**7月14日（金）17:00（先着順）**とさせていただきます。

※ 本研修は農業土木技術者継続教育プログラムのCPD認定申請中です

## 10. 申込の受理および受講決定

お申し込みは、先着順に受理します。定員になり次第、締め切りとします。

受講決定は、事前案内及び請求書とあわせて**研修二週間前**を目処に郵送します。

（一社）地域環境資源センター 農村環境部 （担当：藤田）

【お問い合わせ電話番号】 03-5425-2461

【FAX宛先】 03-3432-0743

【メール宛先】 y.fujita@jarus.or.jp

## 1 日目集合場所

くりはら交流プラザ（エポカ21） 2階 虹の間 13:00集合（受付12:30～）  
住所 〒989-5612宮城県栗原市志波姫新熊谷279-2 TEL0228-23-8866



■新幹線をご利用の方  
東北新幹線「くりこま高原駅」  
から徒歩 40 秒

■車をご利用の方  
エポカ21に駐車場はありますが、他イベント等により多数の利用が想定されることから可能な限り公共交通機関等をご利用ください

※エポカ21には、レストラン、  
宿泊施設があります

1日目の研修終了後、主催者が用意する貸切バスにて宿泊施設（峠の湯 追分温泉）へ移動します。（宿泊を希望される方の内、車でお越しの方は、エポカ21に駐車したまま貸切バスをご利用いただくこととなりますが、駐車場を確保できる保障はございませんので、公共交通機関等をご利用ください）

※集合時間・場所等の詳細については、事前案内にてお知らせします

## 2 日目集合場所と行程

貸切バスにて、宿泊施設（峠の湯 追分温泉）より現地実習場所まで移動します。  
（集合時間：8時頃の予定）

研修会終了後、東日本大震災からの復興状況の視察を行います。

視察後、伊豆沼第2工区へ移動し、ほ場整備事業により整備した環境配慮施設の視察と生きものの生息状況を確認します。

移動は、引き続き貸切バスにて行います。

以上の後、希望者は、「伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター」を訪問します。

希望しない方は、くりこま高原駅まで貸切バスにてお送りします。（15時30分頃解散予定）

希望する方は、サンクチュアリーセンターにて、遊覧船（有料）によるハス観賞等をして頂いた後、くりこま高原駅まで貸切バスにてお送りします。（16時30分頃解散予定）

※集合時間・場所等の詳細については、事前案内にてお知らせします

## 生きもの調査指導者養成全国研修会 カリキュラム

	時間	講義・実習等	講義内容等	
1 日目	12:30～	受付開始		
	13:00～ 13:10	主催者挨拶		
	13:10～ 14:00	生きもの調査 計画編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きもの調査の概要や目的の解説</li> <li>・ 調査を地域の活性化につなげている地区事例の紹介</li> <li>・ 安全管理 (危険の予知、イベント保険等)</li> <li>・ 生きものの採捕許可 (内水面漁業調整規則等)</li> </ul>	
	14:00～ 15:00	生きもの調査 実践編Ⅰ ～採捕、撮影、記録～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査の1日の流れ</li> <li>・ 採捕の仕方</li> <li>・ 写真撮影</li> <li>・ 記録方法</li> </ul>	
	15:00～ 15:10	休憩時間		
	15:10～ 16:30	生きもの調査 実践編Ⅱ ～生きものの同定～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表的な生きものの種同定、識別点</li> </ul>	
	16:30～	事務連絡の後、宿泊施設 へ移動		
2 日目	8:00	集合		
	8:00～ 10:50	採捕、写真撮影、調査記 録方法の実習(屋外)	現地実習にて調査技術を習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採捕</li> <li>・ 写真撮影</li> <li>・ 調査記録</li> </ul>	
	10:50～ 12:35	東日本大震災からの復興 状況の視察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石巻市</li> <li>・ 南三陸町</li> </ul>	
	12:35～ 13:35	昼食	南三陸さんさん商店街	
	13:35～ 15:15	伊豆沼第2工区	ほ場整備により整備した生態系配慮施設の 視察と生きものの生息状況の確認	
	15:30	くりこま高原駅 解散		
	(以下、希望者のみ)			
	15:15～ 16:15	伊豆沼・内沼サング チャーセンター	伊豆沼・内沼の自然や人文・社会環境の視 察、遊覧船(有料)による伊豆沼のハス観賞	
16:30	くりこま高原駅 解散			